

展覧会開催予定

※展覧会の名称は変更する場合があります。

細見コレクション名品選

麗しき日本の美 — 祈りのかたち —

平成24年2月7日[火]—4月1日[日]

前期 2月7日(火)～3月4日(日) 後期 3月6日(火)～4月1日(日)

本展では、コレクションの大きな特色をなす宗教美術を特集します。王朝女性の祈りを伝える《普賢菩薩像》など仏画の名品や、神秘の輝きを放つ密教法具の数々など80点余りを展示します(会期中展示替あり)。

約10年ぶりのまとまった展示となる、古写経や禅僧の墨跡も見どころです。会期後半には、聖地での華やぎを描く重要文化財《豊公吉野花見図屏風》も登場します。



重要文化財 金銅春日神鹿御正体

琳派展XIV 生誕250年記念展

酒井抱一と江戸琳派の全貌

平成24年4月10日[火]—5月13日[日] ※4/30・5/7は開館

江戸琳派の祖、酒井抱一(1761—1828)の生誕250年を記念した大回顧展です。

名門譜代大名家の次男として江戸に生まれた抱一は、後半生を画家として過ごしました。その画風は宗達、光琳ら、伝統的な京都の琳派に強く憧れながら、江戸後期らしい新たな好みや洗練を加えており、近年では抱一の確立した新様式を「江戸琳派」と称しています。

本展では、浮世絵に始まる抱一の琳派傾倒以前の初期作から、最も得意とした華麗で写実的な花鳥図の数々、出家後に手掛けた仏画の優品など、抱一の多岐にわたる作品を展示いたします。また抱一の有力な弟子、其一、孤邨らを始め、百年以上にわたる江戸琳派の活躍の軌跡も辿ります。



酒井抱一筆 桜に小禽図(部分)

これからの展覧会

美を愛でる、京を愉しむ

5/19(土)～7/8(日)

魅惑の北欧アール・ヌーヴォー 塩川コレクション

ロイヤルコペンハーゲンとビングオーグレンダール

7/14(土)～9/30(日)

特別展

細見美術館アートキャンパス2012

10/6(土)～12/24(祝)

細見美術館

京都市左京区岡崎最勝寺町6-3 TEL 075-752-5555

休館日 月曜日(但し、祝日の場合は翌日)・展示替期間

開館時間 午前10時～午後6時(入館は、午後5時30分まで)